

「大学のまち・学生のまち京都推進計画」に基づく  
令和6～7年度大学・学生関連施策について

## 1 大学のまち・学生のまち京都推進計画

### (1) 計画の名称

大学のまち・学生のまち京都推進計画 2019-2023（以下、推進計画）

### (2) 概要

- 京都の都市特性である「大学のまち・学生のまち」として、より発展していくためには、京都市と大学コンソーシアム京都（以下、「コンソ」）が連携し、大学や産業界、地域と一体となって、大学の知や学生の力を核とした政策を展開していく必要があり、推進計画は今後取り組むべき施策を取りまとめもので、京都市とコンソが協働で策定（平成31年3月策定）。
- 推進計画に掲げる施策を着実に推進するとともに、大学関係者等から幅広い意見を求める目的で、「大学のまち京都・学生のまち京都」推進会議（以下「推進会議」という。）を開催してきた。

### (3) 計画期間

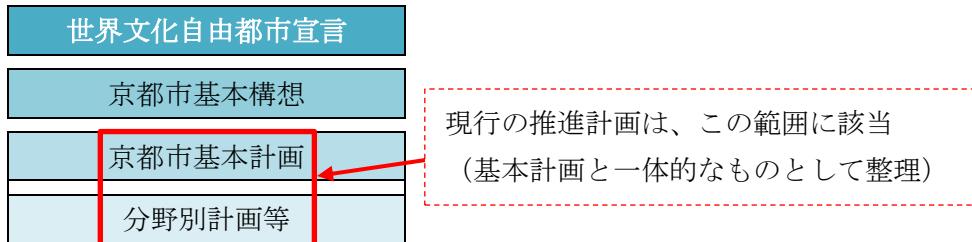
令和元（2019）年度～令和7（2025）年12月末【※】

※ 当初、令和元年度から令和5年度が計画期間であったが、令和3年度の推進会議において、上位計画である「京都市基本計画（はばたけ未来へ！京プラン2025）（計画期間：2021～2025年）」と一体のものとして見直し、計画期間を令和7年12月末までとしている。

### (4) 計画の位置づけ

京都市の最上位の都市理念である「世界文化自由都市宣言」、長期ビジョンである「京都市基本構想」、そして、これを実現するための総合計画である「京都市基本計画」、さらに、基本計画に基づき、本市の各分野における具体的な施策や取組を示す「分野別計画」の一つに位置付けられる。

【参考】大学のまち・学生のまち京都推進計画に係る計画体系 ※令和7年12月まで



## (5) 計画の構成

<b>第1編 計画策定の主旨等</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの京都市・大学コンソーシアム京都の取組</li> <li>計画策定の主旨</li> </ul>	
<b>第2編 大学・学生を取り巻く状況と課題</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学・学生を取り巻く状況</li> <li>今後の課題</li> </ul>	
<b>第3編 目指すべきビジョンと基本方針</b>	
<p><b>《ビジョン》</b></p> <p>世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」であり続けるために ～オール京都で次の社会を支える担い手を育成～</p> <p><b>《基本方針》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都で学ぶ意義の再認識と魅力の向上、国内外への発信強化</li> <li>大学の個性化・特色化の取組を全面的にサポート</li> <li>京都の将来の担い手の育成</li> <li>大学の知・学生の力をいかした産業・文化の創造・発展と地域の活性化</li> </ul>	
<b>第4編 施策の推進</b>	
<p><b>《6つの施策の柱と推進事業》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都で学ぶ魅力の向上</li> <li>大学・学生の国際化の推進</li> <li>大学の枠を超えた学生の活動の推進</li> <li>学生の進路・社会進出の支援</li> <li>大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化</li> <li>国内外への魅力発信の強化</li> </ul>	

## 2 6つの柱に基づく令和6～7年度の関連施策 ※主な事業を抜粋

柱	取組概要／実績
① 京都で学ぶ魅力の向上	<p><b>単位互換事業【コンソ】《R7充実》</b></p> <p>他大学が開講する科目を履修し、修得した単位が所属大学の単位として認定される制度。京都ならではの学びの推進として、京都の世界遺産等をフィールドとしたPBL科目も開設している。</p> <p>また、令和7年度からは、広域単位互換も開始し、京都以外の様々な地域の大学で提供されている科目を受講し、単位認定することも可能とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶令和7年度実績…提供科目数：315、出願者数：1,363人 提供科目数（広域）：9、出願者数：7人</li> <li>▶令和6年度実績…提供科目数：339、出願者数：1,256人</li> </ul>

## FD・SD 事業【コンソ】

高等教育を取り巻く環境の変化に対応し、コンソ加盟校の教育力向上と大学運営の支援を図るため、FD と SD の知見を基に、学生の主体的な学びを引き出す教育手法から、教職協働による先進的な大学運営の実践に資する講義・ワークショップを開催している。

※ FD (Faculty Development)：主に教員を対象に、授業の内容や方法を改善・向上させるための取組／SD (Staff Development)：事務職員や大学執行部を対象に、大学運営や教育支援活動に必要な能力・資質を向上させるための活動

(令和 7 年度実績 (抜粋) ※11 月時点／( )内は参加者数

- ・ 10/25 SD フォーラム「大学職員とモチベーション～仕事を愉しむ“自分らしい志”の見つけ方～」(131 名)
- ・ 8/31 IR フォーラム「大きく変わる入学者選抜、学生募集と IR 活用の可能性を考える」(515 名)
- ・ 6/22 大学執行部塾「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～」(ハイブリッド：106 名)
- ・ FD 合同研修プログラム・テーマ別研修  
9/26 隣のゼミはどんなゼミ？ (オンライン：14 名)  
7/2 「科研費獲得のための申請書作成術～コツと戦略を学ぶ～」(オンライン：109 名)  
6/4 「明日の自分を軽くする：大学教職員のための心の整え方と Z 世代との付き合い方」(オンライン：28 名) 他

(令和 6 年度実績 (抜粋)) ※( )内は参加者数

- ・ 3/1～2 FD・SD フォーラム「FD×SD で学生の学びと幸せを支える」(372 名)
- ・ 10/27 SD フォーラム「大学職員の高度化・専門化とは～教育研究実施組織の構成員として～」(126 名)
- ・ 8/31 IR フォーラム「変革する大学！学習成果の可視化と数学マネジメントの実践～IR データを活用し、学部・学科の教育改善や学生の能力育成に取り組んだ事例～」(オンライン：622 名)
- ・ 6/22 大学執行部塾「急速な少子化が進む中での大学の役割」(ハイブリッド/85名)
- ・ FD 合同研修プログラム・テーマ別研修  
10/17 生成 AI 技術を導入した大学授業の最前線レポート (オンライン／ 21 名)  
9/19 社会への入口としての大学教育～PBL 教育の可能性～ (オンライン：27 名) 他

**留学生スタディ京都ネットワーク【市・コンソ】**

留学生の誘致や、受入体制の整備、留学生の進路・社会進出の支援をオール京都で推進している（大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等により運営し事業を実施）。

**<誘致・情報発信>**

- ・京都留学総合ポータルサイト「STUDY KYOTO」（8言語）  
年間アクセス数：約 160,000 セッション（令和 6 年度）
- ・留学生 PR チームによる SNS 等での情報発信（7か国・地域、9名）  
ファン・フォロワー総数：約 37,000 名（令和 6 年度末）
- ・国内外での京都留学説明会  
海外：韓国、台湾、ベトナム、インドネシア、タイ（令和 6 年度）  
国内：東京、大阪、京都（令和 6 年度）

**<受入環境整備>**

- ・京都プレミアム体験・交流事業  
実施回数：3回、参加者数：49名（令和 6 年度）
- ・留学生支援・交流コミュニティ「Kyo Tomorrow Academy」  
登録者数：164名（27か国・地域）、実施イベント回数：25回（令和 6 年度）
- ・留学生対象インターンシッププログラム  
インターンシップ：15社、21名（令和 6 年度）  
オープン・カンパニー：2社、19名（令和 6 年度）

**留学生の受入れに係る大学の負担軽減への支援等【市】**

来日直後の留学生が、京都での生活にいち早く馴染んでいただくためのサポート（区役所での行政手続きのサポート等）や、京都の伝統文化等に触れる機会を提供するなど、学生生活の充実へとつなげることで卒業後も京都に愛着を持ち、京都で活躍してもらえる環境づくりに取り組んでいる。

**取組①：入学直後の留学生に対する情報提供等（ウェルカム・パッケージ）**

- 大学等でのガイダンス（例：ゴミの出し方、自転車ルールなど）や  
区役所への手続きツアーの実施
- ▶令和 7 年度実績…実施回数：19回、参加者数：1,057名（10月末時点）
- ▶令和 6 年度実績…実施回数：10回、参加者数：667名

**取組②：京都の文化芸術を体験する「参加体験型プログラム」**

- 少人数で京都ならではの「文化芸術」や「伝統産業」の魅力をじっくりと体験できるプログラム（例：書道、京料理、陶芸、螺鈿加工など）
- ▶令和 7 年度実績 実施回数：2回、参加者数：28名  
(留学生 28名、日本人 1名) (11月末時点)
- ▶令和 6 年度実績 実施回数：4回、参加者数：83名（留学生 79名、日本人 4名）

**取組③：市内文化施設への入場優待や文化関連イベントへの無料招待**

- ・市民狂言（年 4 回）、京響定期演奏会（年 8 回）、  
時代祭など、市内の文化イベント等への無料招待
- ▶令和 6 年度実績…参加者数：延べ 1,346 名
- ・市内文化施設等に無料で入場できる「留学生おこしやす PASS」を提供、「留学生おこしやす PASS」を活用し交流イベントを実施
- ▶令和 6 年度実績…利用者数：5,753 名（留学生 5,549 名、日本人 204 名）  
交流イベント：3回（参加者数 49 名）

### 学生と地域をつなぐ学まちコラボ事業【市・コンソ】《R7充実》

学生が地域と連携（コラボ）して、地域の課題解決や活性化に取り組む事業を募集し、選定した事業に対して支援金を交付。学生の地域活動を後押しするとともに、京都の学生が地域のにぎわい創出や、地域の抱える課題解決に貢献しながら、まち全体をキャンパスとする学びの機会を創出している。

令和7年度からは、従来枠（スタンダード枠）に加えて、“入門編”にあたる「トライアル枠」を創設し、これから地域活動を始める学生の「はじめの一歩」を後押ししている。さらに、地域活動に興味・関心がある学生からの相談体制の強化として、従来オンライン相談のみで対応していたものを、キャンパスプラザ京都の1階にある学生活動スペース「学生PLACE+（がくせいぷらす）」に専門相談員を配置し、連携する地域団体の紹介など、活動前の相談から活動中の伴走支援を行っている。

（令和7年度実績）

- ・スタンダード枠（30万円/件）：申請30件 → 採択13件
- ・トライアル枠（10万円/件）：採択10件

（令和6年度実績）

- ・スタンダード枠（30万円/件）：申請16件 → 採択：12件

### 学生×地域×企業 京都未来人材育成プロジェクト【市（府市協調）】《R7充実》

「府市が募集した地域課題」、「企業から出された課題」について、地域・企業と一緒にになってそれぞれの課題解決に取り組む大学・学生を公募し、活動を支援するとともに、取組を通じて、学生の京都の地域や企業への愛着を醸成し、将来の京都を支える人材の育成を目指す。

（令和7年度実績）

- ・京都未来人材育成プロジェクト補助金：55件（補助上限：30万円/件）
- ・大学横断型学生プロジェクト：15件（実施予定）

### 京都学生祭典【市・コンソ】

学生が持つエネルギーを高め、京都のまちの活性化につなげるため、学生が企画から運営までを行い、京都の大学、経済界、地域、行政がオール京都で支援する。

（令和7年度実績）実行委員数：93人、おどり手数：632人

（令和6年度実績）実行委員数：108人、おどり手数：736人

**産学連携教育プログラム（学生と地域企業をつなぐ就職体験プログラム）【市・コンソ】《R7充実》**

実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とし、実習先での就業体験を含む教育プログラムとして実施。単なる就業体験にとどまらず、実践から「働く」を考え、社会人基礎力を育成するカリキュラムとなっている。令和6年度までコンソ独自事業であったが、令和7年度は京都市も参画して実施しており、京都市の施策として「学生のプログラム受講料の無償化」や「企業との交流会開催」を行っている。

▶令和7年度実績…出願者数：198人

▶令和6年度実績…出願者数：159人

**地域企業の魅力発信【市】**

ウェブサイト「京のまち企業訪問」を活用し、企業の採用情報やインターンシップの情報等に加え、働きやすい職場づくりに向けた取組など、企業の魅力を発信している。

▶令和6年度実績…掲載企業数：4,079社

**学生等と地域企業との交流会【市】**

大学等との連携のもと、地域企業が大学等を訪問し、講義等の中で学生との交流会を開催することで、大学生の進路選択や職場観などのキャリア形成を図っている。

▶令和6年度実績…開催数：43回、参加企業：123社、参加学生：延べ1,827名

**地域企業インターンシップ促進プロジェクト【市】**

地域企業におけるインターンシップの活用を促進するため、学生が短期間で複数の地域企業を訪問するプログラムや企業向けセミナー等を実施している。

▶令和6年度実績…開催数：8回、参加企業数：延べ64社、参加学生数：延べ205人

### 生涯学習事業「京カレッジ」の開講【市・コンソ】

高度化・多様化する社会人の学習ニーズに応える生涯学習事業として京都市とコンソで協働して実施。20年以上の歴史を持つ「京都学講座」をはじめ、加盟校により開催される特色ある授業や公開講座に毎年多くの市民が参加しており、加えて令和4年度からはリカレント教育プログラムも提供している。

- ▶令和7年度実績…科目数：167科目、出願者数：延べ802人
- ▶令和6年度実績…科目数：177科目、出願者数：延べ1,014人

#### リカレント教育等の推進

産官学連携の強みと特色を活かしたリカレント教育プログラムとして、働く中でのスキルチェンジ、リスキリングへのニーズの対応や、各大学の演習やプログラムを横断して幅広い分野の人材育成に資することを目的に実施している。

(令和7年度開催講座)

- ・対人援助の現代的課題 -広がりと深まりのなかで考える多職種連携-
- ・防災と減災のためのリスクマネジメント -助かることと助けることのあいだを結ぶ-

(令和6年度開催講座)

- ・現代の教養講座-宇宙移住に向けた社会構築-
- ・働く人のためのデータサイエンス講座-現場で使える機械学習-
- ・対人援助のフロンティア-よりよく生きるために支援とは何かを考える

### 学びの充実と成長に向けた高大連携推進のための調査【市・コンソ】

将来の京都を支える人材の育成を図るため、高大連携の好事例、先進事例の掘り起こしなど、大学生・高校生の京都での学びの充実と成長に向けた高大連携推進のための調査を実施している。調査結果をもとに、関係者間で目的や意義についての共通認識を構築したうえで、京都ならではの高大連携プログラムについて検討し、令和8年度以降の事業化につなげる。

(令和7年度調査)

- ・各高校・大学の現在の高大連携の実施内容の把握
- ・好事例、先進事例の掘り起こし
- ・更なる推進に向けての課題、行政へのニーズの把握

**京都学生広報部【市・コンソ】**

全国の中高生に「京都の大学で学びたい」「京都で学生生活を送りたい」と思っていただぐため、京都で学ぶ大学生が、学生生活を送る中で実感する「リアルな京都の魅力」を学生目線で発信する取組。京都学生広報部に所属する大学生が、学生自らの視点で企画・取材・記事作成した京都のリアルな情報」を、ウェブサイト（コトカレ）やSNS等で発信している。

- ▶令和7年度実績…ウェブサイト掲載記事本数：33件（10月末時点）
- ▶令和6年度実績…ウェブサイト掲載記事本数：57件

**学生向けアプリ KYO-DENT【市・コンソ】**

「大学のまち京都・学生のまち京都」の公式アプリとして、学生生活に役立つ情報や学生向けイベント情報等を発信。

- ▶累計ダウンロード数：58,989件 ※令和7年10月末時点  
(参考：令和6年度末時点 49,931件)

(参考) 京都市キャンパス文化パートナーズ制度

学生が文化芸術に対する理解を深め、学生生活をより豊かなものとすることを目的に京都市と大学等が連携し、施設（京都市京セラ美術館、京都市動物園、元離宮二条城、無鄰菴など）への入場料の優待などをを行っている。令和2年度から、KYO-DENTと連携し、KYO-DENTの画面+学生証の提示で優待が受けられるようにしている。

**ふるさと納税を活用した大学における地域連携等推進事業**

京都市と協定を締結した市内大学の協働により、ふるさと納税の使途（寄付メニュー内）に「京都の大学・学生の活動を応援」の項目を開設している。集まった寄付金は、京都市が実施する大学・学生活動の支援等に活用するとともに、大学が実施する地域社会・企業との連携強化や人材育成に関する取組、学生支援等に活用いただく述べ、「大学・学生のまち京都」の更なる魅力向上に取り組んでいる。

(取組実績) ※令和7年4月時点

- ・連携大学（協定締結校）… 33大学
- ・寄付受付実績（R6年度）… 約6.0億円
- ・大学が活用できる補助メニュー
  - ①地域社会及び企業等との連携強化に関する取組
  - ②地域の人材育成に関する取組
  - ③大学・学生の国際化に関する取組
  - ④経済的に困窮する学生への支援に関する取組

(各大学の取組事例)

① 地域社会及び企業等との連携強化に関する取組

- |     |  |
|-----|--|
| 京都大 | <p>▶卒業生や市民をはじめとしたステークホルダーとの交流・情報発信イベント等の開催（大学の知の社会還元）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座「京大知の森」を開催。「人生100年の道のり「老い」の見方を変える」、「宇宙を拓く」等をテーマに講演、パネルディスカッションを実施</li> <li>・京大では、全国各地に数多くの教育研究施設を開設し、地域社会における「京都大学の窓」として親しまれている。これらの隔地施設の活動をより一層知つもらうため、「京大ウイークス」として、地域の方々を対象に、施設公開や公開講座などを実施</li> </ul> |
|-----|--|

京都光華女子大	<p>▶「光華ワクワク × 健やかフェス」の開催 地域交流の場として大学を開放。健康・未来創造キャンパスの実現に向けた教育研究活動を紹介し、地域の方々が「来場された時よりも健やかでワクワクした気持ちになれる1日を作る」というコンセプトのもと開催。当日は「ワクワクエリア」「健やかエリア」「フードエリア」に分かれ、催し物や体験イベントを実施</p>
立命館大	<p>▶脱ペットボトルプロジェクト 地元企業と連携し、立命館オリジナルデザインの紙容器ミネラルウォーターを開発。オープンキャンパスや学園祭などで、水の配布、容器の回収を行い、容器回収に協力いただくことで、プラスチックごみの削減となり、その容器がトイレットペーパーヘリサイクルされる啓発活動を実施 ▶梅尾公園ふれあい祭り 地域で開催されるお祭りに出店した。</p>
<p>② 地域の人材育成に関する取組</p>	
京都女子大	<p>▶リカレント教育の推進 女性のキャリアアップを支えるリカレント教育「女性のための実践・リーダー育成コース」を実施。グループワーク等を中心に、ビジネスリーダー、管理職を志す女性が成果を実感できるプログラムを提供</p>
京都橘大	<p>▶たちばなサイエンスデーの開催 「大学の研究にふれてみよう」をテーマに、地元の小学生を対象にしたイベントを開催。学生によるブースを設置し、ものづくり体験等を実施</p>
<p>③ 大学・学生の国際化に関する取組</p>	
京都精華大	<p>▶留学生支援を通じた大学の国際化 協定校から受け入れた交換留学生のための日本語研修レッスンの実施</p>
立命館大	<p>▶国際寮での地域交流・国際交流イベントの実施 音楽を通した文化交流イベントを開催。留学生や、地域の子どもたちの楽器演奏、木簡・書道体験、縁日体験などの企画を実施</p>
<p>④ 経済的に困窮する学生への支援に関する取組</p>	
京都大	<p>▶奨学金支援 学内の奨学金制度により、向学心に富み強い創造心や研究意欲を持つが経済的に困窮する学生（371名）に対して、奨学費を本補助金の一部から支援を実施</p>
京都市立芸術大	<p>▶授業料の独自減免 経済的に困窮する学生（79名）に対して、授業料の減免を実施</p>
種智院大	<p>▶学食支援 物価高への経済支援として、定食・カレー・丼などの食券を学生1人当たり2食分程度（450円券+550円券）配布（100名）し、食事代の一部を大学が負担する取組を実施</p>